

安全衛生対策実施記録

7 月度

作成	承認
松田	原

安全衛生対策会議

実施年月日	平成 21 年 7 月 6 日 (AM (PM) 17時 30分 ~ AM (PM) 18時 00分)
実施場所	社内会議室
参加人数	20 名

会議内容

●熱中症について

もうすぐ新居浜も梅雨明けをしますが、毎年この梅雨明けから8月までの期間が一番熱中症にかかるのが多いと言われてます。細かく言うと、午後2時から4時台の間に多発しています。

熱中症とは、高温の環境下で体温調節や循環機能などの働きに障害が起こる病気で、症状も色々あります。

1. 熱射病 … めまい、頭痛、嘔吐、下痢などがみられ、意識障害に陥ることがある。致命率が高い
2. 熱けいれん … 筋肉の痛みを伴い、発作的にけいれんを起こす。
3. 熱疲労 … 激しい口渇、めまい、尿量の減少がみられ、歩行困難や失神することもある。

では、熱中症を防ぐには … 水分、塩分の補給のためのスポーツドリンクなど身体を適度に冷やすことができる氷、冷たいおしぼりなどの物品などを備え付ける。また、十分な休憩時間を確保する。

管理者は、熱中症をよく認識しておき、作業員の健康管理に気を付けることです。

●熱中症についてのビデオ観賞(15分間)

